

令和4年度 町政懇談会
質疑応答集

令和4年度「町政懇談会」開催結果（全4会場）

開催日	地域	会場	参加人数		
			男	女	合計
7月12日（火）	岩滝地域	知遊館	22	0	22
7月13日（水）	野田川地域 (三河内区、岩屋区、 幾地区、四辻区)	野田川ユースセンター	17	0	17
7月19日（火）	野田川地域 (上山田区、下山田区、 石川区)	野田川わーくぱる	20	1	21
7月20日（水）	加悦地域	元気館	20	0	20
合 計			79	1	80

令和4年度町政懇談会質問・回答のまとめ

No	区分	開催日	地域	質問内容	回答内容
1	施策	7/12	岩滝	Qメンタルヘルスケアの窓口について メンタルヘルスケアの相談を受けてもらえる人がいないので、対応できる方を配置してほしい。	A副町長 今年度の主要事業に、重層的支援体制整備事業として地域共生社会の実現を目指す研究を進める予算を組んでいる。
2	施策	7/12	岩滝	Q転出者数について 移住が12世帯34名と言われたが、町から出られた方はどれくらいあるのか。	A町長 毎年300人から400人の人口減少が進んでいる。
3	施策	7/12	岩滝	Q学校給食費の負担軽減について 学校給食費の負担軽減として285万円とあるが、一人当たりになるといくらになるのか。	A教育長 物価上昇分の4パーセントを算出根拠としている。
4	施策	7/12	岩滝	Qゼロ予算事業について 予算がゼロ円の取り組みがあるが。	A副町長 財政が厳しい中で、ゼロ予算で取り組みを進めていくことも有効であると考えている。
5	施策	7/13	三河内 岩屋 幾地 四辻	Q人への投資について 人口が減り、予算も減っていく中で、人への投資が重要ではないか。特に子ども子育てへの投資が重要であり、与謝野町出身者をUターンさせることが大事だと思う。	A町長 子育て環境の充実が、最重点課題であり最も重要なのは、成人するまでの養育費の抜本的な支援だと思う。 Uターンでは、この町で育った子どもたちが、自発的にこの町を選択する状況を作り上げることが重要である。 A教育長 小中学校におけるふるさと学習を様々な教材を使用しながら行っており、地域行事の参加に関するアンケートにおいて、地域の行事に参加するのは楽しい、嬉しい、ためになる等の意見をいただいている。 宮津天橋高校加悦谷学舎において、高校の魅力化事業を展開しているが、Uターンに繋がるなどの成果が増えてきている。
6	施策	7/13	三河内 岩屋 幾地 四辻	Q理系教育を伸ばす必要性について 日本は資源がないので、子どもたちの興味を理系に向けることに力を入れたらと思う。	A教育長 令和4年度から小学校の理科において、教科担任制という任を担う教員が加悦小学校に赴任しており、理数教育の基礎を作り上げてもらっている。
7	施策	7/19	上山田 下山田 石川	Q生活者支援の電気料金の支援策について 生活者支援で電気料金の支援策はないが、どのように考えられているのか。	A企画財政課長 町は皆さんへ等しい支援を考える必要があり、今回は水道料金の負担軽減について、限られた財源の中で行っている。

令和4年度町政懇談会質問・回答のまとめ

No	区分	開催日	地域	質問内容	回答内容
8	施策	7/19	上山田 下山田 石川	Q移住定住支援策、女性の活躍について 移住定住支援事業に関して、若い人が定住したり、人が出ていかずに残ることが大事だと思う。与謝野町には魅力があるから住みましょう、住み続けてくださいという戦略的なものがないと先細りすると思う。 女性の活躍について、与謝野町では女性の活躍ができていないことが、魅力的な与謝野町にできないところかもしれない。女性が出てきやすい場や雰囲気を作ることができれば、町のセールスポイントができて、町に住んでくれるので、グローバルな視点でのまちづくりが必要だと思うが、町長はどのようにお考えか。	A町長 2つのご指摘については、その通りだと思っている。 移住定住促進にしても、女性活躍にしても、課題を解決していくためには、風土作りと制度面での下支えが必要と思っている。風土作りで町民の皆さんにお願いしたいことは、ご家族やご友人にこの町に帰って来ようなど、一緒に町を作り上げていこうとお伝えいただきたい。制度面では、移住定住政策は現在、6項目ほど行っているが、消極的ではというご指摘だったと思うので、戦略的に施策の実行に結びつけていきたい。その上で女性の活躍について、この町に帰ってくる女性の比率は非常に低いのが現状であり、その中でどのようなことができるのか検討できていない。例えば、自治区においても女性の方がより活躍できる自治区作りに取り組んでいただきたい。女性の活躍という観点は、非常に重要な視点だと思うので、より深く男女共同参画のプランを考えたいと思う。
9	施策	7/19	上山田 下山田 石川	Q町内の歴史的な遺物について 町の歴史的な施設について、価値をあまり理解されていないと感じている。例えば、やさいの駅のところにある3本の煙突について、あそこの鉱山は日本の歴史の中では非常に重要な価値を持つものであるが、煙突を見てもどのような歴史的な経過で残っているのか、表示がないのでわからずもったいないので、歴史をきちんと知らせるべきだと思う。それ以外でも、様々な歴史的あるいは観光的な施設の維持については、表示も含めて考えていただきたい。	A町長 非常に重要な視点だと思う。 歴史的な施設について、背景を示し理解を繋げていく工夫ができるところはいくつかあると思う。改めて各地域にある室に光を当てていく姿勢は重要なことだと考えている。
10	施策	7/19	上山田 下山田 石川	Q織物に係る最低工賃について 機織りの最低工賃について、何か対策を考えておられるのか。	A町長 実態に即した商取引になっているのか、かねてから疑義を持っている。改めて関係各所に実態調査をしていき、そのような状況があれば、改善するように申し述べていく。
11	施策	7/19	上山田 下山田 石川	Q子育て支援策について 町として子どもを増やす支援策は何かあるのか。目玉になるようなことをやってもらわないと、魅力的だと思ってもらえないと思う。	A町長 ご指摘については、同じ見解です。 出生を増やすことと、子育て環境を充実していくことについては、分けて考える必要があると思っている。具体的には出生から子育て、そして大学進学に至るまでの養育費について引き下げていくような取り組みをしていく必要があると考えている。その上で、充実した子育て環境の点については、各分野で対策を講じていかないと子育て環境の充実は達成できないので、子どもに対する支援やお母さん方に対する支援なども含めて、総合的に推進していく必要がある。

令和4年度町政懇談会質問・回答のまとめ

No	区分	開催日	地域	質問内容	回答内容
12	施策	7/19	上山田 下山田 石川	Q町政懇談会について 町政懇談会の開催方法について、地区公民館まで出向いていただきローカルな意見を聞いてほしい。 Q2 懇談会で個別のいろいろな課題に対して行政から回答をもらうことも大事だと思うが、町政や町の未来などについて、お互いに共感しながら思いを共有し合うような懇談的なことをやってほしい。	A町長 広報と広聴の方法については、町政懇談会のみならず様々な形でできるとしている。これまでの町政懇談会は、住民の皆さんからのご指摘やご質問を受けるケースが多かったが、共に未来を語り合うような場になっていくことも一つの方向性と思う。まちづくりについて、未来志向の議論が展開できるように、工夫をさせていただきたい。
13	施策	7/20	加悦	Q令和5年度以降の地域づくり事業について 金屋地域づくり推進委員をしており、令和2年度から町の協働のまちづくり調査事業に取り組み、現在、10回のミーティングを行っている。本事業は本年度が最終年度となっているが、来年度も金屋地域づくり推進委員会と金屋区と一緒に継続していく予定であるが、来年度以降の地域づくりに対する町の考えなどを聞きたい。	A企画財政課長 令和2年度から3年間の期間で、現在、金屋区を含めた町内4地域がそれぞれの地域課題、テーマで取り組みを進められている。一番鍵になるのは、地域を支えていく人材であろうと考えている。令和5年度以降の取り組みをどのようにしていくかは、町としてどのような支援ができるのか、財政的な支援もあれば人的な支援もあるため、どのようにしていくか考えていく必要がある。
14	制度	7/12	岩滝	Qふるさと納税制度について ふるさと納税による増収と町民が他市町村へ寄付することによる減収との比較はどのようになっているのか。	A企画財政課長 決算の段階にならないとふるさと納税の税収比較はできないが、令和2年度までは歳入の方が多くなっている。
15	制度	7/12	岩滝	Q公民館の修繕に対する補助について 弓木地区公民館は老朽化が激しく、修繕に高額な費用がかかることが想定され、区として予算付けができるか心配であるので、有利な補助があれば教えてほしい。	A企画財政課長 町のまちづくり人づくり補助金しか用意できておらず、3分の1は区で負担いただくことになる。
16	制度	7/12	岩滝	Q消防団について 消防団の支援隊員は車両の運転ができず、実火災の時に人はいるのに火が消せない状況になっているので、ルールを見直すなど、弾力的な運用を検討してほしい。	A副町長 法令や条例の内容を確認し、改善可能かどうか研究し現実に即した体制を研究したい。
17	制度	7/12	岩滝	Q住宅改修制度について コロナ禍になってから建物に関する助成制度の利用は何件ほどあったのか。 現在、新築やリフォームの助成はあるのか。	A建設課長 住宅改修制度は、126事業者から申請があり、補助金は8,000万円程度で好評であったが、今後は財源確保ができないと実施は難しい。
18	制度	7/12	岩滝	Q子育て関連制度について 出産準備金支援金制度は、他市町村と比べて金額面はどうか。	A町長 出産準備金支援金制度の10万円の支給は、京都府下でも珍しい取り組みである。全国的に同様の制度を設けられている市町村では、3万円から5万円までの範囲での支給となっている。

令和4年度町政懇談会質問・回答のまとめ

No	区分	開催日	地域	質問内容	回答内容
19	制度	7/13	三河内 岩屋 幾地 四辻	Q下水道受益者分担金について 下水道受益者分担金はしっかり徴収できているのか。取りこぼしがないようにしているのか聞きたい。	A企画財政課長 下水道受益者分担金については、平成25年に受益者分担金が多額な時効を迎えることがあったが、それを機に台帳の管理等取りこぼしがないように管理している。 A町長 一般会計から下水道特別会計に繰り出し金をしているが、この繰り出し金が一般会計を圧迫している要因である。価格改定については、料金改定の時期がコロナ禍であったため先送りした経過があるが、社会的経済活動が一定進んできたことなどを踏まえ、料金改定を行っても問題ないと判断している。
20	制度	7/13	三河内 岩屋 幾地 四辻	Q職員の労働環境マネジメントについて 職員の労働環境マネジメント、パワハラ・セクハラに対してどのように取り組まれているのか。	A総務課長 超勤時間は総務課で状況確認をしており、週に45時間を超える場合は、事前に申請をするように周知し、週に45時間を超えた場合は検証を行っている。 ハラスメントに対しても、衛生委員会で情報共有、確認をしている。
21	制度	7/19	上山田 下山田 石川	Q草刈りについて 地域が高齢化してくる中で一番しんどいのは草刈りである。住みやすい地域をつくるためには、行政として草刈りなどをどのように考えるのか。制度や仕組みがなければ考えてほしい。	A建設課長 道路・河川の草刈りで町が担当しているのは、町道および重要河川の部分で、その中で主要な路線について、年に1回だけ行っているのが現状である。どのようにしていくか、今後の課題とさせていただきます。
22	制度	7/20	加悦	Qコミュニティスクールと学校評議員について 学校評議員に代わる制度のコミュニティスクールは、これまでの学校評議員をなくしてやっていかれるのか。並行してやられるのであれば、評議員との棲み分けや調整はどのように考えておられるのか。	A教育長 コミュニティスクールについては、学校評議委員会制度に代わるものとして理解いただきたい。 令和4年度に加悦地域で準備を進め、令和5年度に加悦地域でコミュニティスクールをスタートさせ、令和6年以降に野田川地域、岩滝地域へと進めていきたい。
23	施設	7/12	岩滝	Q給食センターの建設について 給食センター新設の検討が進んでいないと聞いたが、子どもたちのために建設に向けて進めてほしい。	A教育長 令和4年度内に議会に方向性を提示できるように検討を進めており、令和4年度に基本設計、令和5年度に実施設計のスケジュールを考えている。
24	施設	7/12	岩滝	Qこども園園庭の日よけ設置について かえでこども園の園庭に日よけがなく、夏の子どもたちの外遊びに影響が出ているので、日よけの設置について検討してほしい。	A町長 夏の子供たちの外遊びに対する保障は町全体での課題であるので、改善できるように検討していきたい。
25	施設	7/12	岩滝	Q消防車庫の新設について 新しい消防車庫の建設時期はいつか。	A企画財政課長 建設候補地の測量が完了し、設計に入っており、建設は来年度以降になる。

令和4年度町政懇談会質問・回答のまとめ

No	区分	開催日	地域	質問内容	回答内容
26	施設	7/13	三河内 岩屋 幾地 四辻	Q公共施設の今後のあり方について 庁舎問題、公共施設問題は重要で、様々な意見や賛否があるが、稼働率等を出して統合していく方向が今の時代に沿うと思う。	A町長 庁舎、公共施設については、最適化を図る必要があり、複合化あるいは統廃合することだと思うが、統廃合できる環境を作っていくことが重要だと考える。
27	施設	7/13	三河内 岩屋 幾地 四辻	Q野田川ユースセンター宿泊棟の閉鎖について 町側から一方的に閉鎖にするのは納得がいかない。貸館業務の収益のみで維持できる試算はできているのか。老朽化に対しどのような策があるのか。何らかの形でお金をつぎ込むなど、30年が経過し役目が終わったような考えを改めてほしい。 Q2 それなりの経費がかかってくると思うが、試算はできているのか。 Q3 運営していきただけで永遠に赤字であり、宿泊棟を閉鎖しているうちに話しがまとまるか不明だが、いずれ取り壊しの方向になると思うので、早めに手をうつべきである。地元の意見を聞き入れて解決策を出す方がよいと思う。 Q4 京都府から無償譲渡があると聞いているが、早急に対策をたてるべきだと思う。 Q5 宿泊棟はどの範囲を指すのか。	A観光交流課長 町から一方的にではなく、指定管理者からここ1、2年以内に改修工事ができなければ、運営していくのは難しいとの話があった。町も財源確保が難しく京都府の施設であり京都府の補助金もつかない。町も維持したい思いはあったが、総合的に判断した結果、宿泊棟を閉鎖することに至った。ずっと閉鎖するわけではなく、協議する必要があると考えている。 A2観光交流課長 正確な試算はできていないが、グラウンドゴルフ場で約90万の収益となる。それに対する支出が500万、600万である。それに比べ指定管理料が1,000万ほどであるため支出に関しては半額ぐらいになる。 A3観光交流課長 一旦、宿泊棟を閉鎖するが、同時並行で今後どのような利活用ができるのか町民と一緒に議論できたらと考えている。活用方法がないことで潰すことはないし、京都府の施設なので譲渡も含め考えている。 A4観光交流課長 京都府に対して譲渡の要望書を提出しており、町として活用方法が決定したら、無償譲渡してもらうように再度要望を出すつもりである。 A5観光交流課長 音楽ホール横のトイレの先の食事のできるスペースから全面休止と考えている。

令和4年度町政懇談会質問・回答のまとめ

No	区分	開催日	地域	質問内容	回答内容
28	施設	7/13	三河内 岩屋 幾地 四辻	<p>Qの다가わ認定こども園の建設場所について 町長選挙のマニフェストで、現在の石川保育所、山田保育所、市場保育所のいずれかの場所に認定こども園の建設を予定するとし、今までの場所は諦めると書いてあった。これについて質問状を送付したところ、立候補者山添藤真氏の発言であり、与謝野町の発言ではないことをご理解くださいと書いてあったが、この発言に対して町長はどのように考えているのか。 Q2の다가わ認定こども園を現在の3園のどこかにもっていくのは、敷地面積的に難しいのではないか。早く開園をしてほしい。</p>	<p>A町長 町長選挙の出馬会見で、の다가わ地域における認定こども園の設置場所については、現行の場所を軸に進めていくと発言し、マニフェストにも記載している。それは、立候補者山添藤真の発言であり、与謝野町役場としての発言ではないので、回答は差し控えたいという内容だと思う。の다가わ地域における認定こども園の設置場所は、庁舎内で議論を重ねているところであり、議論の内容については、しかるべきタイミングで町民に発表したいと思う。 A2町長 多くの保護者、子どもたちが楽しみにしていると思うので、一刻も早く新しいこども園で教育活動ができるように進めていきたいと思う。</p>
29	施設	7/19	上山田 下山田 石川	<p>Q野田川ユースセンターの今後について 宿泊棟の休止は、一旦なのか、ずっとなのか。 Q2 指定管理者が了解したから決定ではなく、町民の理解を得ないといけな いと思うが。 Q3 簡単に宿泊施設を止めますでは、地元の三河内区をはじめ納得のでき ないところは出てくると思う。府の施設であるので、知事と町長が本気で どこまで交渉するかだと思う。そのような努力をして宿泊施設を守ってほ しい。 Q4府議会議員を巻き込んで進めてほしい。</p>	<p>A観光交流課長 一旦休止して、今後の利活用方法や方針を早めに決めていきたい。 A2観光交流課長 指定管理者も町民の方々だと理解しており、まずは経営者の意見が一 番大事という判断で、話し合いを行い了解は得たと思っている。宿泊施 設として維持できるようにとの要望はもらっているのので、町全体で捉えど のような施設がいいのか、町民の皆さんと一緒に考えて、結論を導き出 したい。 A3副町長 7月13日開催の町政懇談会においても同様のご意見をいただき、町民 との対話を重視するとお答えしている。府への要望についても、一つの 行動であると考えます。 A4町長 ここ数年、府議会議員とともに予算要求や要望について、府に働きかけ てきているが、施設の状況、方向性を見定め、必要な事項については、 京都府知事に伝えていきたい。 野田川の2会場から同様の意見を受けたので、真摯に検討したいと思 う。</p>

令和4年度町政懇談会質問・回答のまとめ

No	区分	開催日	地域	質問内容	回答内容
30	施設	7/19	上山田 下山田 石川	<p>Q公共施設の太陽光パネル設置 加悦にこども園ができたときに、こども園の屋根に太陽光パネルがセッティングされ、再生エネルギーを作りながら運営すると思っていたが設置されていないのはなぜか。設置にお金はかかるが、将来的な見通しや、子どもたちがエネルギー問題について考えるときには、必要な設備だと思う。</p> <p>Q2 クリーンセンターでできた電気を小学校に供給するから太陽光パネルを搭載しなかったというように聞こえたが納得しがたい。民間企業も太陽光パネルを積まないと社会的な信頼を得られない状況であるので、町長の回答は賛成しかねる。</p>	<p>A町長 宮津与謝クリーンセンターでゴミの焼却と併せて、電気を創出し町内の教育施設に供給していく道筋を描いている。その上で、つばき・かえで両園の設計には、太陽光パネルを搭載していない。</p> <p>A2町長 宮津与謝クリーンセンターのあり方については、単にゴミを燃やす施設だけではなく、再生可能エネルギーなども併設することができる施設にできないか、そこで創出された電力については、町内などで循環できる取り組みを行っていきたいとの思いが当初からあり、与謝野町の公共施設、宮津市、伊根町の公共施設において、配電ができるような計画を進めてきた背景がある。その中で、新たに公共施設を建設する場合、広域的に取り組みを行っているゴミ処理施設の利用も考慮しながら検討を進めてく考え方がある。</p>
31	施設	7/20	加悦	<p>Q工芸の里について 金屋区には、工芸の里があるが実態を把握できていない。 旧加悦町の行政主導のもとで工芸の里は開発され、工芸に携わっており入られる方が入ってきて、それ以外の方は入って来られない説明があったが、その位置付けが今はどうなっているのか。町は実態を把握されているのか、町としてどの程度関与できるものなのか知りたい。</p>	<p>A副町長 旧加悦町時代に一定限定したルールのもとで作った経過があるが、そのルールを緩和したのではないかと記憶している。町が深く関与した取り組みであるため、町の関与は避けられないのではないかと考えている。金屋区とも情報交換しながら、実態把握等が必要であれば相談させていただきたい。</p>
32	防災	7/12	岩滝	<p>Q空き家調査、空き家活用について 空き家調査を実施した結果をどのように分析し活用しているのか。具体的な取り組みなど情報共有してほしい。</p>	<p>A総務課長 今回の調査結果は、広報誌でお知らせする。 調査の結果、使用できる空き家は空き家バンクへの登録の案内をする。道路交通や通学に影響がある危険な空き家については、注意喚起や落下物対策を行っている。</p>
33	防災	7/12	岩滝	<p>Q防災訓練について 現在の防災訓練は形式上の訓練で終わっているのので、訓練のあり方を検討してほしい。</p>	<p>A副町長 防災訓練の内容の変更について検討する。</p>
34	防災	7/20	加悦	<p>Q隣地から伸びた枝木の対処について 道路に影響を及ぼしている隣地から伸びた枝木の処理について、区から町に要望をしているがその都度「所有者に対応をお願いします」という現状であるが、来年4月の民法の改正に伴い、町の実態が変わることは考えられるのか。</p>	<p>A建設課主幹 道路上に出ている木の枝に関しては、様々な要望が町にも寄せられており、現在は民法上、木の枝が道路上または隣の家の方へ張り出した場合の伐採については、その所有者に同意を得た上でないと切ることができない。同意を得ずに切ると裁判になる事例もある。所有者にも様々な事情があり、緊急の状況にあるときには、町が一部伐採している状況である。 民法が改正され、今と違うアプローチができるのであれば、アプローチをかけていきたいと考えている。</p>

令和4年度町政懇談会質問・回答のまとめ

No	区分	開催日	地域	質問内容	回答内容
35	防災	7/20	加悦	Qつばきこども園進入道路の防犯灯について つばきこども園の進入道路の防犯灯が大雪で折れた竹によって潰された。このような事案の原因となった土地が民地であった場合、弁済を求められるのか。	A建設課主幹 つばきこども園の防犯灯は道路の開通に合わせて設置した。雪が降り、竹が道路の方に倒れることは想像しておらず、道路の一番端にある防犯灯の線を切断した。復旧については地中に線を這わして断線しない形とした。 処理費を所有者に求めたかについては、今回は私たちの想像を超えてしまったので、費用負担は求めている。
36	防災	7/20	加悦	Q自転車道の防犯灯について 自転車道の防犯灯について、算所のあたりは真っ暗である。順番に設置される話だったと思うが、どのような状況か。	A建設課主幹 今年に関しては、三河内から順番に南側へ進んでいくが、進むペースがゆっくりで、200mずつ9灯ほどをつけても、算所・後野・与謝・最後の滝まで設置されるには何年もかかるので、京都府へペースアップしていただくよう声を上げていきたい。
37	防災	7/20	加悦	Q空き家について 空き家の問題は、見過ごせない部分が多々あると思うが、特に崩壊していく家に関して、どのように考えておられるのか。	A総務課長 今年度、各区のご協力をいただき調査をした中で、空き家が増えている状況である。 危険な空き家については、所有者や納税義務者を把握し、改善していただくように文書を送っている。所有者や納税義務者がわからない場合は対応できないため、三角コーンを置くような対応になっている。全くアプローチができない家屋が一番の課題になっている。今後の国の対策にも期待をしながら、対応策を検討している状況である。
38	農業	7/13	三河内 岩屋 幾地 四辻	Qホップについて ホップを作られている農家は、現在どのような状況なのか。	A副町長 農家が作られたホップは、様々なビール会社に原料として供給しているので、コロナ禍においても件数的には増えている。また、ビール以外にもパンやコーヒーにも使用されている。
39	農業	7/13	三河内 岩屋 幾地 四辻	Q豆っこ肥料について 豆っこ肥料を活用して有機栽培をしている農家もあるが、それが悪い方向に進んでいないか。	A副町長 豆っこ肥料は、工場で管理しているので問題ない。
40	除雪	7/12	岩滝	Q歩道の除雪について 阿蘇シーサイドパーク、山手線、橋立中学校前の歩道の除雪のタイミングを聞きたい。	A建設課長 歩道の除雪は町が行っており、他の道路と同じ基準で午前5時頃から出動している。

令和4年度町政懇談会質問・回答のまとめ

No	区分	開催日	地域	質問内容	回答内容
41	除雪	7/19	上山田 下山田 石川	<p>Q除雪、排雪について 除雪について、上手に除雪ができていないと感じているので、やり方を考えてほしい。府道と町道との役割分担も不十分に感じる。</p> <p>Q2 業者へ下見の依頼はしていないのか。</p> <p>Q3 業者で除雪作業を私が見ているときしか除雪しない業者がいたので、指導してほしい。</p> <p>雪を捨てる場所が確保できれば私たちも協力するのでやり方を考えてほしい。</p>	<p>A建設課長 除雪区域は、除雪路線図を作り業者を配置している。今後も業者とは調整を行う。京都府へも要望していきたい。</p> <p>A2建設課長 業者には雪のないときに、事前に道路の確認に行くように指導している。</p> <p>A3建設課長 人が見ているときしか除雪をしないのは言語道断であり、厳しく指導させてもらう。</p>
42	交通	7/19	上山田 下山田 石川	<p>Q乗合タクシーについて 今年の初めに乗合タクシーの試行をされたが、今後の方向や、現在の实情や取り組みを教えてほしい。 山田地域はバスが使いづらいので、乗合タクシーをやってほしい。</p>	<p>A企画財政課長 乗合タクシーの実証実験を、今年の2月頃に一月だけ行った。これはスマートフォンにアプリを入れて乗降場所を設け、乗降場所から目的地までの移動という形で試行した。現在は丹海バスが走っている幹線と、それで補いきれない部分をコミュニティバスひまわりが運行しているが、上山田、下山田については、幹線に面している理由から、コミュニティバスが運行していない。できるだけタクシーに近いような利便性が求められるものを、今後提供できればと考えている。事業者との調整や運転手不足などの課題があり、行政がやりたいだけではできない。</p>
43	選挙	7/19	上山田 下山田 石川	<p>Q選挙の投票所について 23投票所のうち3箇所については、午後6時で投票が終了することになっているが、具体的な理由があるのか。これから人口減少する中で23投票所が必要なのか。投票所を集約していくことも必要と思う。</p>	<p>A総務課長 川上、香河、奥滝の3つの投票所が午後6時までの投票時間となっている。理由は有権者の人数等の加減だと思う。現在は投票所を絞っていく方向性になっていないが、期日前投票が一定浸透してきており、そのような方向性も考えられると思うので、京都府の選挙管理委員会へ要望していきたい。</p>